



～地域の方とつくる活動～

「子どもたちのために、地域のために、できるかぎりのことはさせてもらいます😊」と、快くおっしゃってくださる、まちづくりセンターのセンター長様をはじめ、地域の方々、いつも本当にありがとうございます。今年度は、これまでコロナ禍でできなくなっていたことを、徐々に元の形に戻しながら行っていくことを、前回までの協議会で確認してもらいました。その上で、少しずつ活動を始めていきます。今後の様々な状況で、全てが計画通りに実施できるかどうか分かりませんが、ひとつでも多く実施できたらと考えています。この号では、最近の活動について紹介します。

『はじめてのソーイング(5年生)』7月3日・4日

今、家庭の中で「針仕事」がどのくらい行われているでしょうか。5年生から始まる家庭科の学習。子どもたちは裁縫道具を開くことにわくわくしているのですが、実際は、針仕事のスタート(針に糸を通す・玉結び・玉留め)で苦戦してしまいます。もちろん、教師も、ひとりひとり丁寧に見てあげたいのですが、物理的に追いつかないこともままあります。そこで、地域の『匠』に支援をしていただきました。



班に一人ずつ付いていただき、子どもたちの様子を見ながら、必要なときに優しく言葉を掛け、上手にできるコツやポイントを教えてくださいました。何度も繰り返し練習する中で、みんなとても上手にできるようになりました。

これから縫い物をするのが楽しみになったことだと思います。ありがとうございました。



上手にできたね😊

これでいいですか?
…できた😊

『町たんけん(2年生)』7月6日

2年生は、生活科の学習で、田代校区のお店や施設、文化的な遺産を、『町たんけん』という形で訪れ、地域学習のはじめの一步を踏み出します。低学年でのこの学びが、最終的には6年生の対馬交流やたしろ学につながっていきます。

学びの支援をまちセンに依頼したところ、すぐに、田代のまちに詳しい方をご紹介いただきました。また、小さな子どもたちの道中が危なくないように、交対協の皆さんにもお声掛けいただき、暑い中見守りを行っていただきました。本当にありがとうございます。地域のことを見て・聞いて、子どもたちの中にそれぞれの形で、自分のふるさとへの想いが芽生えていくきっかけになったと思います。



田代大神宮

◆ 活動の様子を見ていて思うのは「一緒に言葉を交わしながら何かをすること」、そして「その中で、新しいもの(気付きや発見、知識や技能、コミュニティ etc.)が得られたり生まれたりすること」の良さです。地域の方にお礼を申し上げますと、有り難いことに「私たちも元気をもらっているので!」と教えてくださいました。おとなの力から生まれる子どもの笑顔と、子どもの力から生まれるおとなの笑顔。どちらもとてもすてきに思えます。

～大雨の中、ありがとうございました～

先日より、大雨の影響で、朝の時間帯は、子どもたちを送ってくる車がたくさんの列をつくっていました。その日の朝も、いつものように通学路に立ってくださっていた交通指導員の皆様、地域のたくさんの皆様、本当にありがとうございました。ずぶ濡れになりながら、車の誘導までしていただき、大変助かりました。いつも、子どもたちのために、また、保護者の皆様のためにご尽力をいただいていることに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。